

第21版 インサイトレポート

# グローバルリスク報告書 2026

競争の時代



キーコンセプト:  
世界は今、崖っぷちに立たされている

# エグゼクティブ・サマリー：分断の解剖学

「競争」がグローバル・システム全体の主要なリスク要因となり、短期的な地経学的対立が長期的な気候変動対策やAIガバナンスを阻害している。



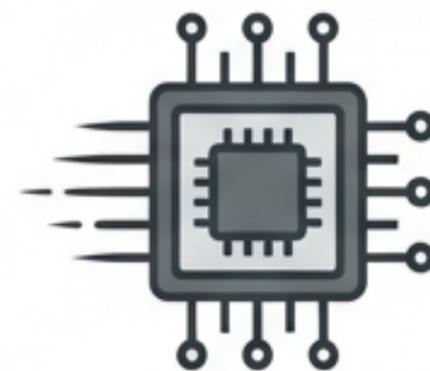
## 1. 不確実性の高まり

今後10年間で「激動」または「荒れ模様」と予測する専門家が57%に達する。



## 2. 地経学的対立

短期（2年）の最大のリスク。制裁や関税が経済を武器化する。



## 3. テクノロジーの加速

AIと量子技術が、既存の安全保障と社会契約を根底から覆す。

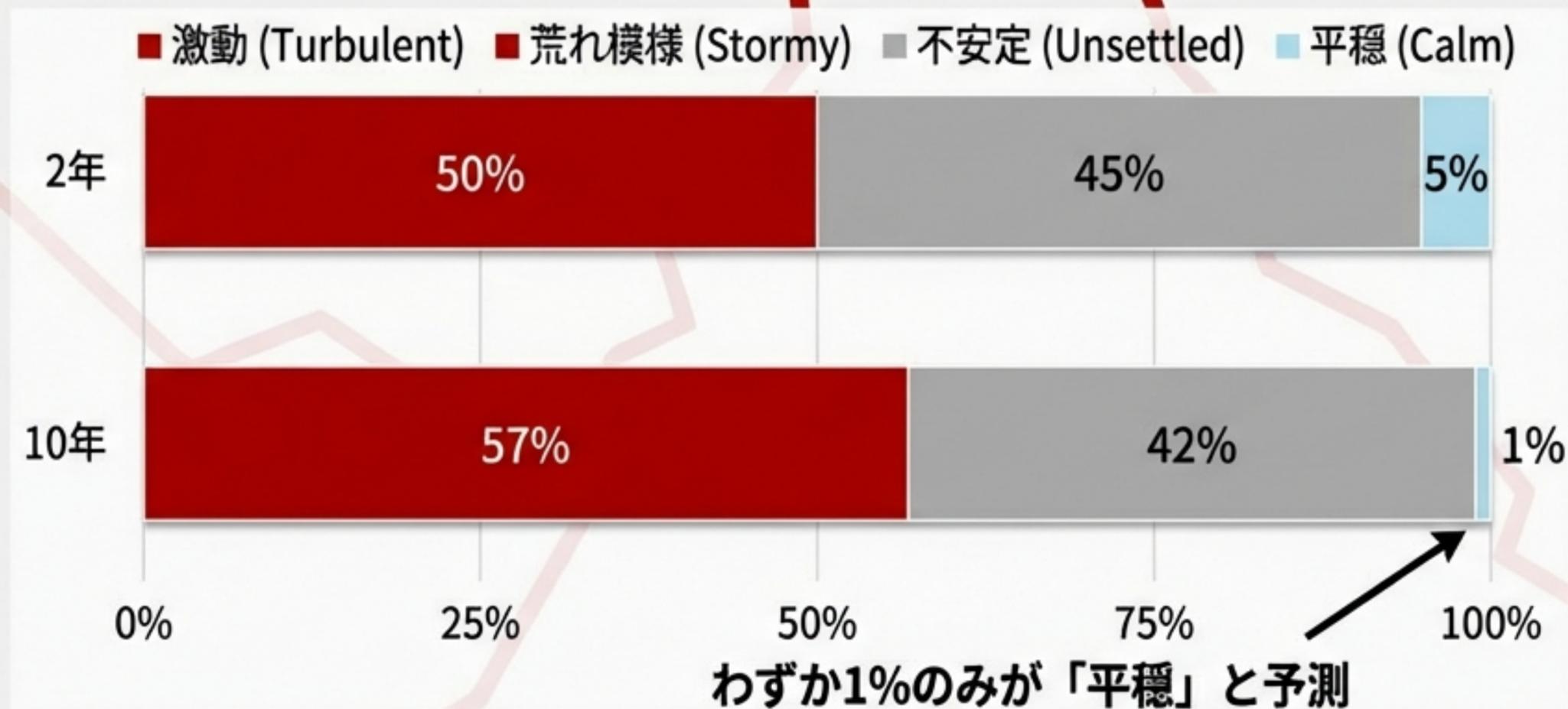
## インサイト

企業は、効率性よりも「レジリエンス（回復力）」と「戦略的自律性」を優先する時代に突入した。

# グローバル・ムード：暗転する見通し

## 4つの構造的強制力

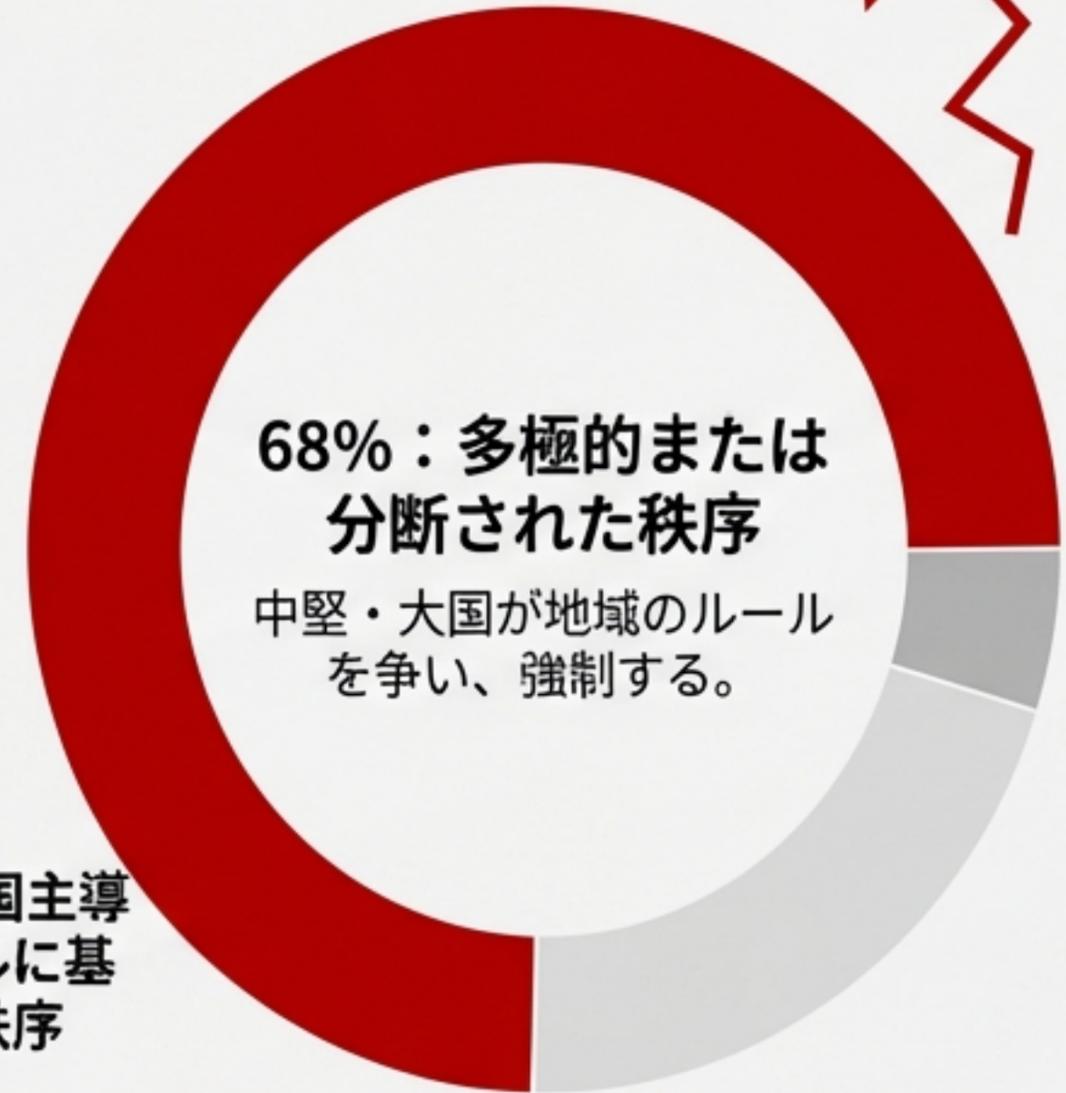
- 地政学的シフト
- テクノロジーの加速
- 気候変動
- 人口動態の分岐



## インサイト

長期的な見通しほど悲観的であり、構造的な変化がリスクを増幅させている。

# 多国間主義なき多極化



## 企業への影響

グローバルな統一ルールが消滅し、地域ごとに異なる規制・規範への適応（コンプライアンスのブロック化）が求められる。

# 第1位のリスク：地経学的対立



## 01

### 定義

制裁、関税、投資規制、サプライチェーンの武器化。経済的な手段が国家安全保障のツールとして利用される。

### データ

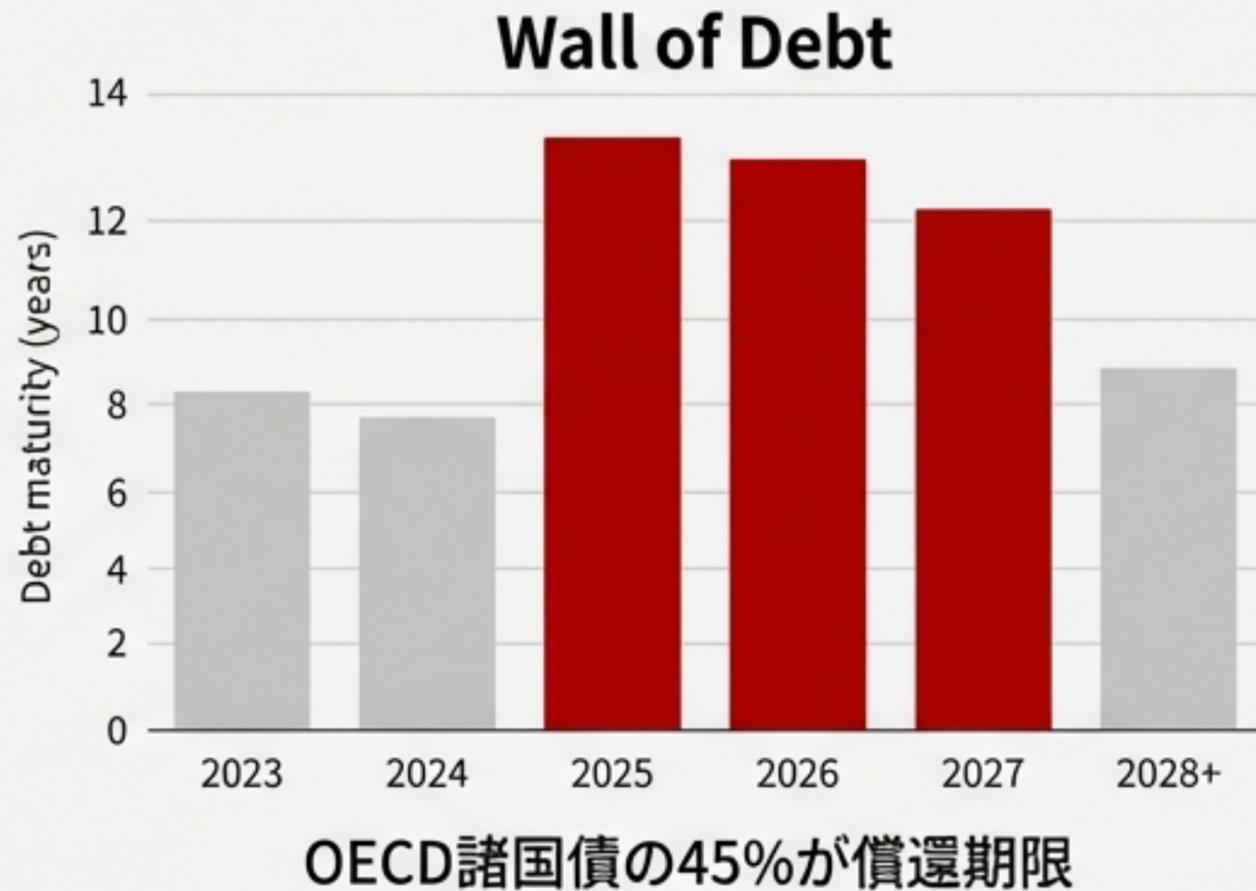
今後2年間の最大のリスクとして18%が選択（ランキング第1位）。

「戦略的に重要な物資」へのアクセス遮断が常態化する。

### インサイト

サプライチェーンの「効率化」は「冗長化」へ。ジャスト・イン・タイムからジャスト・イン・ケースへの転換が急務。

# 経済的審判：債務とインフレの複合危機



## 251兆ドル

世界の総債務（GDP比235%）

- 経済低迷とインフレは順位を8つ上昇
- ブーメラン・インフレ：保護主義がコストを押し上げ、インフレ再燃のリスクを高める

### インサイト

高金利環境下での借り換えは、企業の設備投資能力を著しく低下させる。

# 戦う価値観：社会的分断



経済的困窮と情報の混乱が、社会契約を蝕んでいる。「エリート対ストリート」の対立構造が激化。

## 今後2年間のリスク順位

|     |        |      |
|-----|--------|------|
| 第1位 | 地経学的対立 | 6.66 |
| 第2位 | ...    | 3.61 |
| 第3位 | 社会的分断  | 3.48 |

16カ国でトップ5のリスクにランクイン

## 企業への影響

企業は政治的・社会的な問題に対するスタンスを明確にするよう圧力を受け、レピュテーションリスク（評判リスク）が高まる。

# 真実の喪失：誤情報・偽情報の危機

世界の58%が、オンライン上の真実と虚偽を区別することに懸念を抱いている。

北米では第2位のリスク。



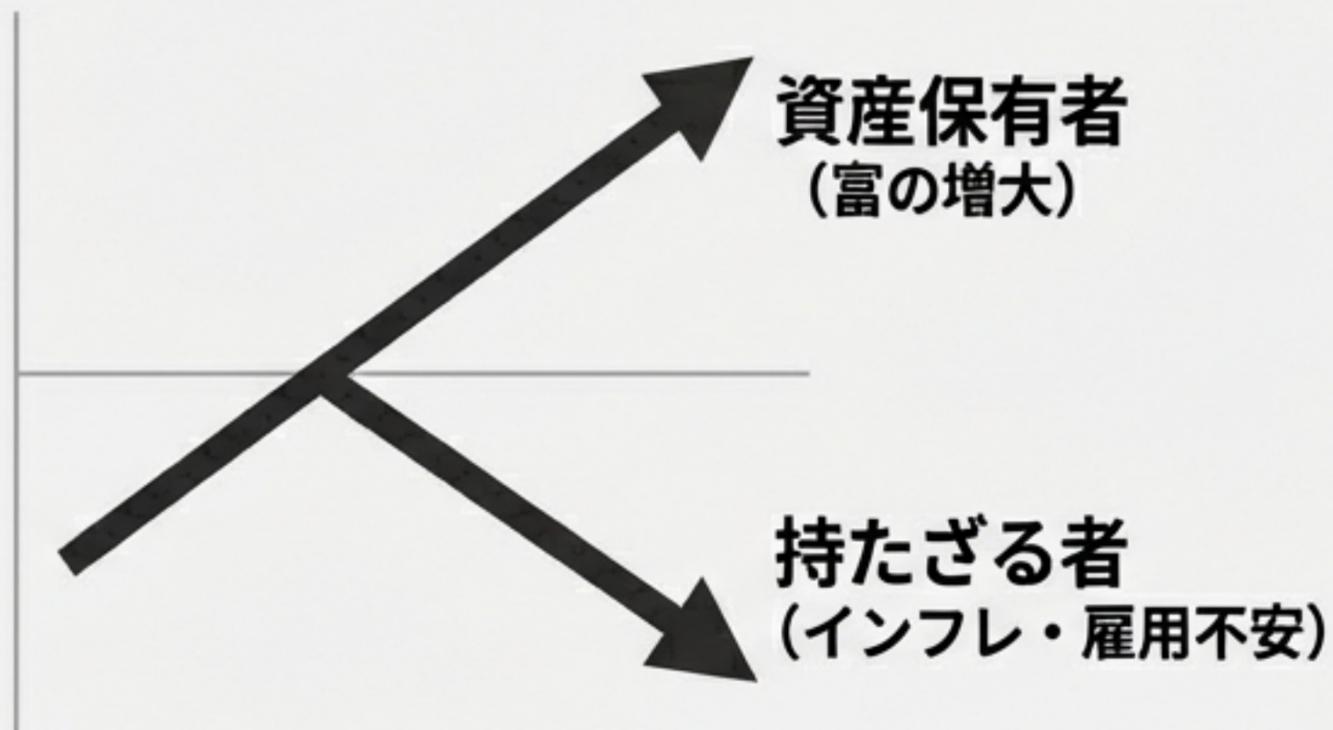
## メカニズム

- **ディープフェイク**：AIによる合成コンテンツが選挙や世論を操作。
- **無関心化**：暴力的なコンテンツの氾濫が、市民の感情的な麻痺(脱感作)を引き起こす。

## インサイト

真実が主観的になる中で、ブランドへの信頼（トラスト）が唯一の資産となる。

# 格差と失われた機会



「格差」は2年連続で「最も相互に関連性の高いリスク」として特定。  
これが社会的分断の根本原因となる。

## インサイト

中間層の空洞化は、消費市場の縮小と社会不安の増大を意味する。

# インフラの危機：老朽化と過負荷



## 1. 老朽化

先進国のインフラは更新時期を迎えている。

## 2. 気候変動

極端な気象現象が設計基準を超え、破壊を引き起こす。

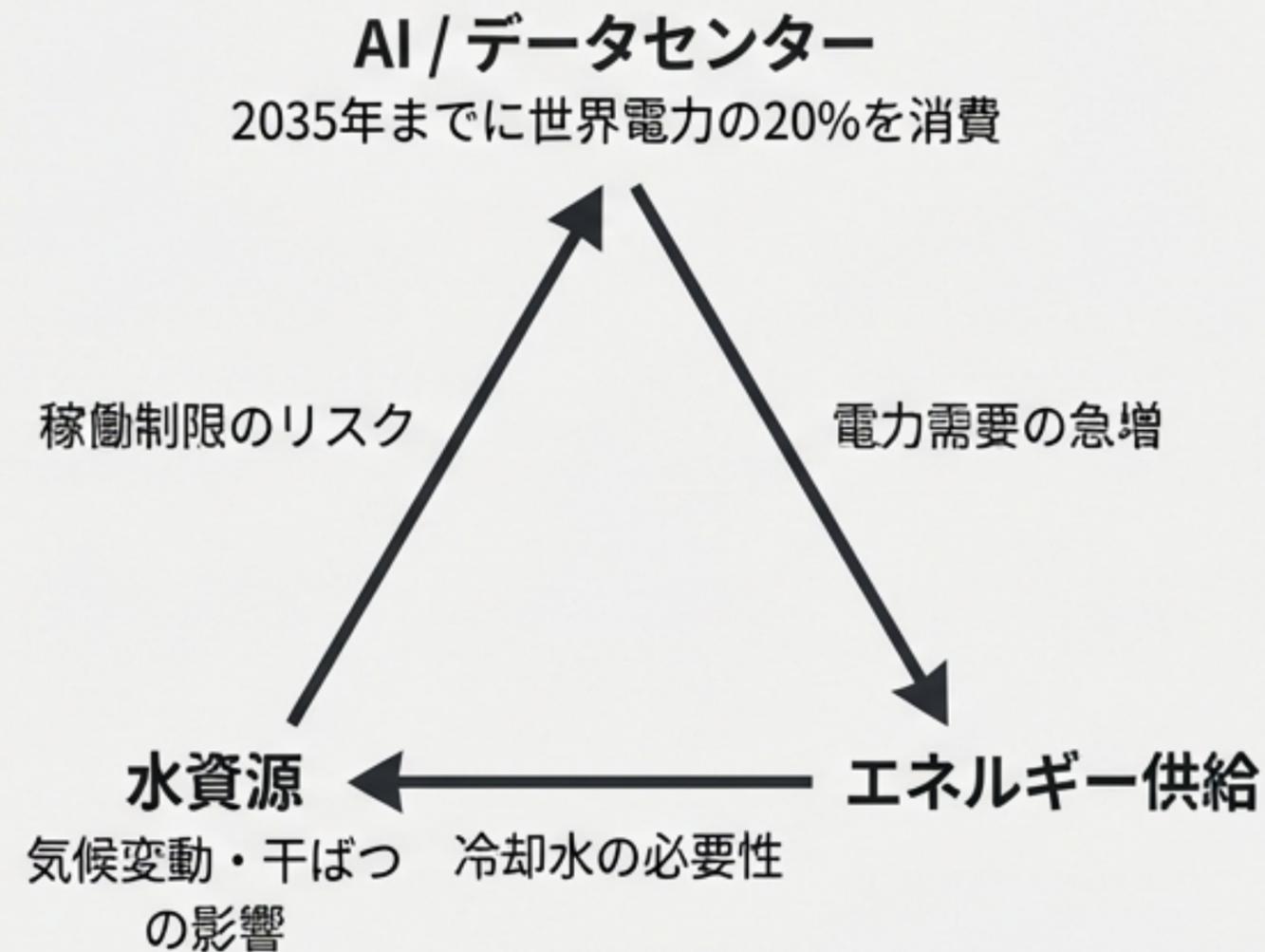
## 3. サイバー攻撃

電力、水、通信がハイブリッド戦争の標的となる。

## インサイト

自然災害による経済損失は右肩上がりが増加中（図45参照）。

# 水・エネルギー・データのネクサス



## 企業への影響

エネルギー確保と水資源管理が、AI戦略の成否を分ける重要因子となる。

# 気候変動：先送りされた実存的脅威



## 短期（2年）

環境リスクの順位は低下（異常気象は2位→4位）。経済・地政学リスクが優先。

## 長期（10年）

トップ10の半数を環境リスクが占める。依然として最大の実存的脅威。

「短期的な生存」への集中が、「長期的な持続可能性」を犠牲にしている。

## インサイト

対策の遅れは、将来の適応コストを劇的に（非線形に）増大させる。

# 制御不能なAI：ハイプを超えて

AIの予期せぬ悪影響

長期5位

短期30位

最も順位を上げたリスク

# 3.5兆ドル

2033年までのAI市場規模予測

開発競争が安全性を軽視させ、自律型AIエージェントによるコントロール喪失のリスクを招く。

## インサイト

導入のスピードがガバナンスのスピードを圧倒している。

# 雇用なき生産性とアイデンティティの喪失



## シナリオ：失われた世代

- ホワイトカラー初級職の最大50%が5年以内に消滅する可能性。
- 高学歴でも職がない若者の増加。
- 仕事を通じた「目的」の喪失が、メンタルヘルス危機や過激化を招く。

### インサイト

リスキリング（学び直し）だけでは不十分。  
人間が価値を発揮できる領域の再定義が必要。

# 量子飛躍と「Qデー」の脅威



## Qデー (Q-Day)

量子コンピュータが現在の暗号技術 (RSAなど) を解読可能になる日。



**53%**

専門家の53%が、10年以内に現在の暗号が解読されると予測。

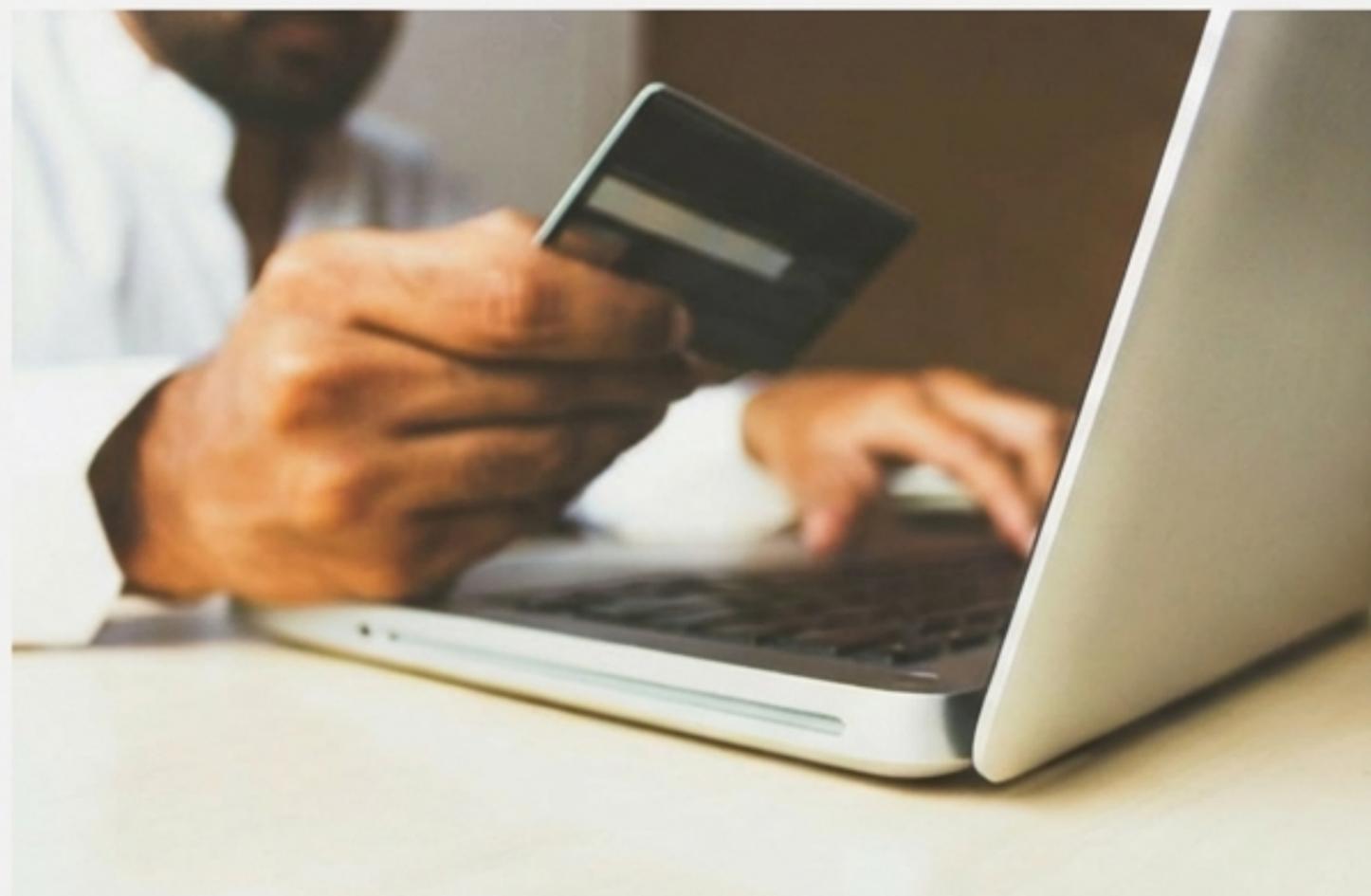
### Harvest Now, Decrypt Later

「今盗んで、後で解読する」攻撃が既に始まっている。

## インサイト

全てのデジタル・トラスト (信用) が崩壊する前に、暗号アジリティへの投資が必要。

# サイバー・インセキュリティの悪夢



1. 重要インフラへの物理的攻撃（ダム放流、電力網遮断）
2. サイバーと物理空間の境界消失
3. 人の命を直接脅かすリスク

## インサイト

サイバーセキュリティはもはやITの問題ではなく、物理的な安全保障の問題である。

# 戦争の自動化：フラッシュ・ウォー



## Data Poisoning

敵対国が学習データを汚染し、AIの判断を狂わせる新たな攻撃手法。

## フラッシュ・ウォー (Flash Wars)

AIが脅威を誤認し、人間が介入する前に攻撃を開始・エスカレートさせるリスク。

## インサイト

軍事AIの導入競争が、安全性テストを軽視させている。

# 企業に求められるレジリエンス



## フォサイト (未来洞察)

シナリオ・プランニングの定着。

## サプライチェーンの分散

フレンド・ショアリングと在庫の積み増し。

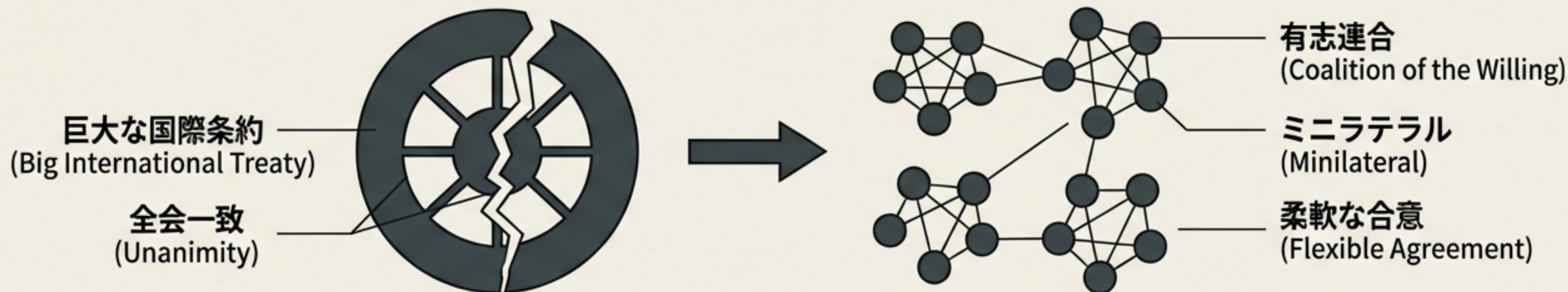
## 暗号アジリティ

量子時代に備えた、暗号技術の迅速な切り替え能力。

## アクション

「効率性」の追求から、ショックを吸収できる「冗長性」への投資へシフトせよ。

# 協力の新しい形：ミニラテラル



全会一致の巨大な国際条約ではなく、「有志連合」による小規模で柔軟な合意（ミニラテラル）が重要になる。

- 特定分野（貿易、気候、AI安全）に限定した協定
- 官民連携による重要インフラの防衛

## インサイト

競争の中にも、共通の利益に基づく協力の余地は存在する。

# 結論：未来は決まっていらない

未来は単一の道ではなく、私たちが今日下す  
決断によって決まる一連の軌道である。

傍観者ではなく当事者として行動することが  
求められている。